

# 2013年10月研究会（中部地区）

日 時：2013年10月29日（火曜）18:00～19:40

会 場：名古屋商科大学大学院 伏見キャンパス2階 E21 教室

報告者：浅井 信太郎（株式会社まるや八丁味噌 代表取締役）

テーマ：『 伝統を守り、先人の知恵に学ぶ 』

司 会：齋藤 孝一（名古屋商科大学大学院教授）

主 催：一般社団法人事業承継学会（中部地区）

## 講師プロフィール

浅井 信太郎（あさい のぶたろう）

### 講演者プロフィール

1949年生まれ。1981年に同社に入社し、2004年、現職に就任。ドイツへの留学経験から、オーガニックへの可能性を早くから見出し、有機大豆を使用した有機八丁味噌を発売。国内はもとより複数の海外の有機認証機関の認証を受け、海外20カ国で販売中。八丁味噌の伝統を未来へ繋いでいくために、常に新しい挑戦を模索している。海外では「MR HATCHO」の愛称で通る。



### < 講演要旨 >

創業は延元二年（1337年）、始祖・弥治右工門が現岡崎市八帖町にて醸造業を始めたと伝えられていますが、「八丁味噌」と呼ばれるようになったのは江戸時代からと言われています。原料は大豆と塩のみ。添加物は一切使用しません。それを高さ約2メートル、直径約2メートルほどある巨大な杉桶に仕込み、その上に400～500個、約3トンもの石を円錐状に積み上げ、二夏二冬（約2年）寝かせるという伝統製法を頑なに守り続けています。その分単価は高くなりますが、それを理解していただけるお客様を一人一人増やしてきました。安易な規模の拡大や値引きは行わず、自分が取るもの、自分の立ち位置を決めて、決してぶれない商いを続けることで、お客様からの信頼を裏切らないように徹しています。

経営において、従業員とその家族を大切に思う気持ちが何より大切です。どんな老舗でも、一番働いているのは社長でなきゃいけません。そして、企業の一大テーマである事業承継。今現在の成功だけを見るのではなく、次の世代がうまくいくための環境を作り、企業としていい状態で継承するのが私の義務ですね。伝統を守る、そのためには攻め続けることが必要です。先代が脈々と築き上げてきた伝統を未来へ繋いでいくため、精進していきます。

研究会参加者：57名

